

教育目標
やさしい子
挨拶の習慣
かしこい子
家庭学習の習慣
たくましい子
手洗い・正しい姿勢の習慣

学校だより

令和5年4月21日（金）
島原市立第一小学校 No1

「心の鏡を磨く人づくり」

～150年の伝統を継承する。～

今年度150周年を迎える歴史と伝統ある第一小学校の教育理念として、今まで継承されてきた『心の鏡を磨く人づくり』ですが、これからも、この理念のもと子どもたちの学力を保証し、基本的な良い習慣を習得することで、人間的に成長させることを念頭に教育活動にあたります。

そこで、今年もこれまで同様、3つと、新たに「正しい姿勢」を加え、これらの習慣を身に付けることを目標にします。

【やさしい子 挨拶の習慣】

挨拶は、社会に出ても一番に教育されるほど大切です。島原の家庭教育三・三・七拍子でも一番目は挨拶です。そこで今年も最終的に「地域で朝の挨拶ができる子100%」を目指し取り組みます。そのため、全学級で学級部会のテーマの一つとして取り組んでいただきたいと思います。

挨拶は、もっとも「心の鏡を磨く人づくり」につながる習慣です。150周年を迎えて、子どもたちは、地域をはじめ多くの人から注目されることでしょう。子どもたちが、これから出会う人々に、気持ちのよい挨拶をすることができれば、第一小学校の良き伝統が確かに継承されている証となります。

【かしこい子 家庭学習の習慣】

学力を伸ばすためには、学習時間が大きく影響します。そのため授業はもちろんのこと、家庭学習の習慣化が重要です。学年に応じた取組を行いますので、ご協力をお願いします。今年度も放課後子ども学習室を開設する予定ですので、有効に活用してください。先日、全国、県、市の学力調査が行われました。今後は調査結果を踏まえ、一人ひとりができなかったところをしっかりと学び直していきます。

【たくましい子 手洗いの習慣】

手洗いの習慣

将来、どんな感染症が流行しても自分を守るために、手洗いの習慣は大切です。そこで、朝学校に登校したら手洗いをする。学校から家に帰ったら手洗いをする習慣が身につくことが目標です。昨年同様、保健給食部の生活リズムカレンダーの項目に入れ取り組むことを提案しています。

正しい姿勢の習慣

今年度から取り組む、もう一つの習慣です。そのため「立腰」を取り入れました。「立腰」（りつよう）とは、以前から本校でも取り入れている躰の三原則「あいさつ返事・履き物揃え」を提唱した森 信三 先生の、もう一つの提唱です。「常に腰骨をシャンと建てる」と、これ人間の精根に入る極秘伝なり」と説かれており多くの学校で取り入れられています。

正しい姿勢は、側弯防止など体の健康につながりますが、それだけでなく、「やる気・集中力・持続力」が身についてくるなど、心の成長にもつながるものです。

全校一斉に、朝行うことを繰り返すことで、正しい姿勢をとることが習慣化し静かで落ち着いた中で、1日の教育活動が始まることも重要であると考えます。

今年度も、子どもたちの未来のために身に付けなければならぬ、良き習慣の確立をめざしますので、昨年同様、保護者・地域の皆様のご支援をいただければ幸いです。

今年1年、どうぞよろしくお願ひします。